

2月に入り、朝晩冷え込むこともありますが、温かい日も増え少しずつ春の訪れを感じます。気がつくと梅の花もしっかり咲いていました。草木は冬の間にしっかりと春の準備をしていますが、事務局も春からの事業へ向けてしっかりと準備を進めてまいります。今号は、春の市民茶会、豊橋総合いけばな展のご案内をお届けします。

春の市民大茶会(前期・後期)を開催します。

毎年恒例の春の市民茶会を開催します。お茶の作法を知らなくても気軽に楽しんでいただける和やかな雰囲気のお茶会です。前期は桜を、後期はつつじの花を楽しみながら、ぜひお気軽にご参加ください。日程と参加流派は次のとおりです。

- と き / 【前期】令和6年4月7日【日】
【後期】令和6年4月28日【日】
両日とも午前10時 — 午後3時
- ところ / 豊橋市民文化会館

▼参加流派 /

- 【前期】茶道宗偏吉田流青年部、宗偏流豊橋支部、松尾流、煎茶売茶流、南坊流
- 【後期】表千家清和会、裏千家今和会、茶道宗偏吉田流、表千家不白流

▼茶券販売 / 前売1,300円(2席綴り)、当日は1席750円

▼問合せ / 豊橋文化振興財団(☎0532-39-5211)

前売
2席1,300円
(当日1席750円)
お気軽に
どうぞ!



昨年ようす

豊橋総合いけばな展を開催します。

豊橋華道連盟に所属する9流派の合同いけばな展です。各流派出色の作品をお楽しみください。

- と き / 令和6年4月27日【土】— 28日【日】
両日とも午前10時 — 午後4時
- ところ / 豊橋市民文化会館2階展示室

▼出展団体 /

- 嵯峨御流、華道家元池坊豊橋、小原流、南宗流、真生流、日本生花司松月堂古流、花芸安達流、日本華道松月、天生理(順不同)

▼問合せ / 豊橋文化振興財団(☎0532-39-5211)

入場
無料



昨年ようす

一服の茶に新春の寿ぎを祝う

令和6年1月14日、三の丸会館で豊橋茶道クラブ主催による初釜茶会が開催された。豊橋文化振興財団加盟の豊橋茶道クラブ8団体が持ち回りで初釜と月釜を担当し、本年の初釜は、宗偏流豊橋支部が担当した。

寄付の神楽獅子の絵に誘われて、本席に入ると、本席床には、益田純翁の消息文が掛かり、青竹の花入れに紅白の梅、つくばねが初春の席を寿いでいた。席主の支部長後藤豊子さんによれば、消息文は純翁所持の宮島釜の写しをつくることへの許状で、名古屋の数寄者森川如春庵へ宛てたものだ。純翁所持の本歌は、徳川家康ゆかりの茶釜である。

干支にちなんだ香合飛龍や赤富士の平糎など席主の心配り

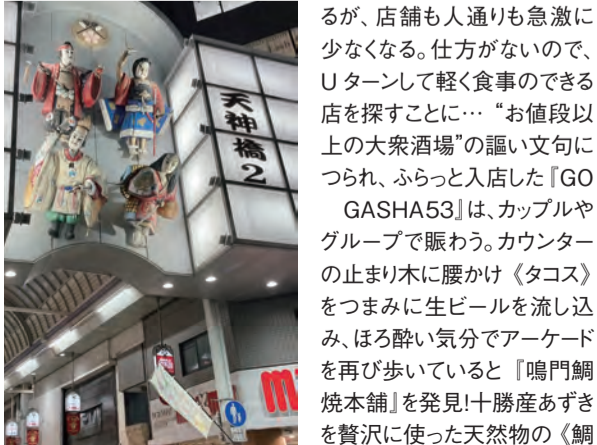
が楽しく、笑顔に包まれたひとときであった。午後3時からは、浅井由崇市長、近藤喜典市議会議長、文化振興財団の高須博久理事長らも、一服の茶を楽しみ、総勢160人余の来客が訪れた。



気まぐれ VOL.13 浪花の巨大迷宮と粉モン、 プク旅 京あんかけ 斧路朱音

4ヶ月ぶりの関西へ…前回も面喰らったが、大阪駅周辺はめまぐるしく変貌を遂げている。今回は梅田地下の巨大迷路に迷い込み、目と鼻の先にあるはずの毎日新聞社ビルに辿り着くまでに一時間半を要してしまった。翌日からのクーリエに備えて、この日は天神橋筋六丁目に宿を取った。

暫くの間ホテルのベッドに横になっていたが、気を取り直して午後7時過ぎに繰り出したのは『天神橋筋商店街』…人ごみをかき分けながら6丁目(天六)から1丁目(天一)へと続くロング・アーケードを進む。強面のオヤジたちが集うディープな飲屋や若人で賑やかな居酒屋を横目でやり過ごしながら、真っ先に向かった先は、2丁目(天二)にある『浜ちゃんイチオシ』の『中村屋』…残念なことに、シャッターが降りていて、名物『コロッケ』を食すことは叶わなかった。重い足取りで天二から天一に進んでみる

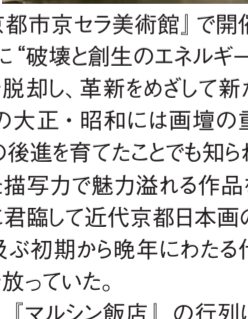


が、店舗も人も急激に少なくなる。仕方がないので、Uターンして軽く食事のできる店を探すことに…“お値段以上の大衆酒場”の謳い文句につられ、ふらっと入店した『GO GASHA53』は、カップルやグループで賑わう。カウンターの止まり木に腰かけ『タコス』をつまみに生ビールを流し込み、ほろ酔い気分です。

さて京都での昼食は、前回迷った『マルシン飯店』の行列に並ぶ。満を持して注文したのは、YouTube動画でも評判の『天津飯』と『焼き餃子』…本音で言えば、“あんかけ好き”の京都人の味覚に合うのかも知れないが、三河人の舌には少々物足りない気がする。やはり、私には豊橋に2店舗を構えるK本店の『天津飯』の味が合うようだ。特に新店舗で腕を振るうオヤジの『天津飯』の塩梅が絶妙で旨い!

焼)をバクつき、次いで『たこ焼楽ななか』の『たこせん』をハンゴ。期せずして“浪花の粉モン”三段締めと相成った。翌日、無事に大阪での用事を済ませ、夕刻には次の目的地である京都に入った。京都では仕事の隙を縫って『京都市京セラ美術館』で開催中の『竹内栖鳳展』を鑑賞…副題に“破壊と創生のエネルギー”とあるように栖鳳は明治期に因襲を脱却し、革新をめざして新たな日本画表現を模索。また円熟期の大正・昭和には画壇の重鎮として第一線で活躍しながら多くの後進を育てたことでも知られる。<写生>をもとにしたずば抜けた描写力で魅力溢れる作品を生み出し、圧倒的な求心力で画壇に君臨して近代京都日本画の基礎を築いた。会場には130点に及ぶ初期から晩年にわたる代表作がズラリと並び、強烈なオーラを放っていた。

さて京都での昼食は、前回迷った『マルシン飯店』の行列に並ぶ。満を持して注文したのは、YouTube動画でも評判の『天津飯』と『焼き餃子』…本音で言えば、“あんかけ好き”の京都人の味覚に合うのかも知れないが、三河人の舌には少々物足りない気がする。やはり、私には豊橋に2店舗を構えるK本店の『天津飯』の味が合うようだ。特に新店舗で腕を振るうオヤジの『天津飯』の塩梅が絶妙で旨い!



新春ご挨拶

公益財団法人豊橋文化振興財団
理事長 高須博久



謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

年が明けたまさにその日に石川県能登地方で大きな地震が発生しました。日常生活を破壊され、大切な家族、仲間を失った人々の悲しみはいかばかりかと、心を痛めております。そして、隆起し大地を切り裂く断層に、自然の脅威を改めて感じます。

私たちの国は、豊かな自然に恵まれる一方で、度々大きな自然災害に見舞われており、私たちの暮らしに大きな影響を与えてきました。日本の文化芸術には、自然に対する繊細な感覚、自然を通して高められた美意識が宿るとともに、自然に対する脅威と畏敬の念を感じさせるものが少なくありません。

安全な生活すら確保されていない今、文化芸術が直接的に被災地の方々のためにできることは少ないと思います。そのことに若干の無力さを感じる一方、これまでの歴史において、大きな災害に見舞われながらも多くの文化芸術が残され伝えられてきたのは、困難な時には共に助け合い、柔軟に変化し共同体を維持発展させてきたからだと思えます。改めて先人たちの努力や気骨に敬意を抱くとともに身の引き締まる思いがします。

新年から災害や事故といった試練と共に明けるとなりましたが、多くの試練の中でも絶えることなく文化芸術が伝えられてきたことに想いを馳せ、決意を新たに地域の皆様と共に協力し、引き続き地域の文化振興に取り組んでまいります。

本年も皆様方がご健勝で益々活躍されることをお祈り申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和6年度 維持会費納入のお願い。

豊橋文化振興財団は、財団の目的及び事業に賛同する維持会員の皆様方の財政的支援および文化事業への参加を通じて、本年度も安定的な運営ができております。皆様方のご支援に心よりお礼申し上げます。

光熱費をはじめとした物価上昇の影響が大きい中、誠に恐縮ですが新年度も引き続き、ご支援・ご協力を賜りたく、令和5年度の維持会員の皆様には、3月上旬に更新のご案内を送付させていただきます。何卒、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

- ▶ 会員期間 / 令和6年4月1日～令和7年3月31日
- ▶ 会費(1口) / 普通個人会員=3,000円 特別個人会員=10,000円
特別団体会員=10,000円 特別法人会員=20,000円
特別賛助会員=50,000円

● 特定公益増進法人に対する寄附金について

当財団の維持会員としての会費は、所得税法施行令第217条第1項第3号及び法人税法施行令第77条第1項第3号に該当する特定公益増進法人として、寄附金控除の対象となります。詳細につきましては、お送りするご案内をご覧ください。豊橋文化振興財団事務局までお問合せください。

文化団体紹介

支部創立 80周年 Vol.40 池坊豊橋支部

今回は、支部創立80周年を迎えた池坊豊橋支部さんを取材させていただきました。

一 池坊豊橋支部について教えてください。

お花に携わることがなくとも、誰もが池坊という名前は聞いたことがあると思います。池坊は海外も含め400の支部があり、華道界最大の会員数となっています。その豊橋支部が設立されたのは昭和19年です。東海支部から独立する形で設立され、現在の支部会員は300名程度、40名程度の教授が地域の市民館や自宅で教室を開いています。豊橋支部には、池坊豊橋支部会館としてビルがあり、これは400ある支部でも10支部程度なんです。ここで、毎週火曜日に常任役員が集まって、支部の様々な決め事や事務作業を行っています。今日は、この3月に開催する『豊橋支部創立80周年・青年部創立45周年 記念花展』の事務作業を行っています。

支部の年間行事としては、砥鹿神社献華祭、巡回講座、名古屋花展、追善花展、初生け式、支部花展、研究会3~4回となかなか充実していて忙しいんです。一 先生方が華道を始めたきっかけを教えてください。

私は静かに座っていることが苦手だったから(笑)、高校生のときに母に華道と茶道を習わされました。それからよい先生、仲間にも恵まれて今日まで長く続いています。昔は、当たり前のように嫁入り前の修行として茶華道を習う文化がありましたし、親が習わせるという事も多かったですよ。今は人々の暮らしも大きく変わりましたが、色んな趣味があるのでその分どうしても華道への注目は薄れま

す。親が連れてくるようなこともなくなりました。その分、「将来外国に行きたいので日本文化を身に着けたい」とか、最初から目的意識の高い子がお稽古に来ることが増えました。

一 暮らしが変化し、趣味も多様化すると若い方が華道に接する機会も減少してしまいませんか。

そうですね。なので豊橋支部では、ぜひぶん前から市の教育委員会にも協力いただき、学校華道に力を入れてきました。現在は、小学校13校、高校10校、専門学校1校で、クラブ活動として豊橋支部が指導しています。玉川校区では伝統文化子供教室として1年生~6年生まで希望者が華道体験を行っています。小学校では男子の参加希望も多く嬉しいですよ。

一 どんなことを意識して指導されていますか? やはり日本の季節の移り変わりや、その中で時間とともに花が変化する美しさを感じ、味わってみたいと思っています。季節ごとの行事に合わせた花を用意したり、子どもたちが、季節を感じながら楽しめるように工夫しています。華道を通して日本の風土、季節の中で私たちが美しいと感じたり考えてきたことを、次の世代へ伝えていきたいと思っています。

一 『豊橋支部創立80周年・青年部創立45周年 記念花展』へ力が入りますね。

今回のテーマは『花文化をつむぐ 未来へ向かって Let's go!』です。コロナ禍も過ぎ、改めて花に希望を託し未来志向で活動していきたいと思っています。自由花で合作の大きな展示にもチャレンジします。ぜひ皆様ご来場ください!



支部創立 80周年記念式典

市内文化団体主催および豊橋文化振興財団が後援する催し物を中心に掲載しています。掲載のご希望は、問合せ先までご連絡ください。

※この予定表は予告なしに変更になる場合がありますので、事前にお確かめください。入場料は前売料金。

催し物スケジュール 3-4月

3月	<p>2日(土) はじめてのお能体験 時間/14時～ 場所/西村能舞台(豊橋市上伝馬町) 講師/宝生流能楽師 内藤飛能 お問合せ/hoshoryu.hiunkai@gmail.com はらべこあおむしショー 時間/1回目=11時～ 2回目=13時30分～ 場所/アイブラザ豊橋講堂 入場料/2,200円※ 2歳以上有料、2歳未満は保護者1名につき膝上限り無料。 内容/エリック・カールの大ベストセラー絵本の世界をそのまま表現。親子で楽しめる舞台です。 豊橋茶道クラブ 月例茶会(担当/茶道宗備吉田流) 時間/9時30分～ 場所/豊橋市三の丸会館 会費/一般750円、会員650円(事前予約制) 裏千家六日会月釜 時間/10時～ 場所/豊橋市三の丸会館 会費/900円(一般参加可) 担当/清水宗澄 華道家元池坊豊橋支部創立80周年・青年部創立45周年 記念花展……………11日(月)まで 時間/10時～17時(9日、11日は16時) 場所/穂の国とよはし芸術劇場アートスペース 入場料/無料 若駒会 日本舞踊×時代劇 一舞ひとつ 舞ひとり 時間/12時30分～ 場所/豊橋市民文化会館ホール 入場料/2,000円 東陽ふれあい音楽会「MIOのほのぼの音楽会3～みんなに届け!私のメロディー～」 時間/午前10時～ 場所/東陽地区市民館 入場料/400円 出演/すずきみお、鈴木直己 第11回オオミナオペラスタジオ発表会 時間/14時30分～17時 場所/アイブラザ豊橋講堂 入場料/無料 内容/2年に1回開催しているクラシックオペラの発表会。日頃の練習の成果を発表。 豊橋素人歌舞伎保存会第36回定期公演 時間/11時～ 場所/穂の国とよはし芸術劇場主ホール 入場料/無料 内容/豊橋素人歌舞伎保存会による定期公演。演目は『弁天娘女男白浪 浜松屋の場』『御所桜堀川夜討 弁慶上使の場』 日曜短歌会 時間/13時～ 場所/豊橋市民文化会館2階第7会議室 水曜短歌会 時間/13時～ 場所/豊橋市民文化会館2階第7会議室 桜丘学園吹奏楽部 第37回定期演奏会 時間/昼の部=13時30分～ 夜の部=18時30分～ 場所/アイブラザ豊橋講堂 入場料/指定席1,200円、自由席1,000円、学生500円 内容/桜丘学園吹奏楽部中学・高校及びOBによる演奏会。吹奏楽部1年間の集大成である「Happy sound」をお届けします。 志多ら 全国ツアーたすき 豊橋公演 時間/14時30～ 場所/穂の国とよはし芸術劇場主ホール 入場料/一般5,000円 本多正樹コンサート 豊橋市公会堂Ⅳ 時間/17時～ 場所/豊橋市公会堂 入場料/2,500円 内容/ラジオパーソナリティ、フォークソング研究会CLUB FOLK会長の本多正樹氏によるフォークソングコンサート。 豊橋青少年音の輪事業「スプリングクリニック」成果発表コンサート 時間/14時～ 場所/ライフポートとよはし 入場料/無料 内容/吹奏楽やオーケストラ等の音楽に携わる市内在住・在学の中高校生がプロ講師の指導を受け練習した成果を発表します。 日本生花司松月堂古流東三支部 春のいけばな展……………31日(日)まで 時間/10時～15時 場所/豊橋市三の丸会館 入場料/無料 国際ソロプチミスト豊橋ポートチャリティ講演会「講話 旭堂南照」 時間/13時30分～ 場所/ロワジュールホテル豊橋Dホール 会費/2,000円 内容/上方講師・旭堂南照氏による講話二話。津軽三味線デュオ「双子魂」による演奏も。 はじめてのお能体験 時間/14時～ 場所/西村能舞台(豊橋市上伝馬町) 講師/宝生流能楽師 内藤飛能 お問合せ/hoshoryu.hiunkai@gmail.com</p>	<p>3日(日)</p> <p>6日(水)</p> <p>8日(金)</p> <p>16日(土)</p> <p>17日(日)</p> <p>20日(水・祝)</p> <p>24日(日)</p> <p>28日(木)</p> <p>29日(金)</p> <p>30日(土)</p> <p>31日(日)</p>	<p>「弁天娘女男白浪 浜松屋の場」</p> 
4月	<p>第56回三河書芸会……………7日(日)まで 時間/9時～17時(最終日は16時まで) 場所/桜ヶ丘ミュージアム(第1～第4展示室) 入場料/無料 内容/書道愛好者約80名による書道作品の展覧会 第798回邦楽鑑賞会 時間/18時～ 場所/豊橋市公会堂 入場料/無料 内容/市内邦楽団体による発表会 春の市民茶会(前期) 時間/10時～15時 場所/豊橋市民文化会館 茶券/1,300円(2席綴) 山本愛花音ピアノライブ～「Spring Aroma」ツアーファイナル～ 時間/18時30分～ 会場/穂の国とよはし芸術劇場アートスペース 入場料/大人2,000円、小人1,000円 内容/2ndミニアルバム「Spring Aroma」収録のオリジナル曲を中心に山本愛花音の音楽世界をお届け。ギタリスト福田将也氏とのセッションも。 琵琶演奏会「逝く春に詠う」 時間/13時～ 会場/豊橋市民文化会館リハーサル室 入場料/無料 内容/古典楽器琵琶の良さを伝えるとともに、日頃の練習の成果を発表。「売花翁」「壇ノ浦」他を発表。 水曜短歌会 時間/13時～ 場所/豊橋市民文化会館2階第7会議室 茶道×クラシック音楽～ヴァイオリンとチェンバロ演奏～ 時間/①11時～ ②14時～ 場所/豊橋市三の丸会館 入場料/3,000円 内容/薄茶点前のデモンストレーションの後、抹茶とお菓子を召し上がりながら、ヴァイオリンとチェンバロ演奏を。 日曜短歌会 時間/13時～ 場所/豊橋市民文化会館2階第7会議室 第41回日本水彩画会豊橋支部展……………28日(日)まで 時間/9時～17時 会場/豊橋市美術博物館 入場料/無料 内容/6月の全国公募展「第111回日本水彩画会」に向けて支部員の作品を発表。 豊橋総合いけばな展「春」……………28日(日)まで 時間/10時～16時 場所/豊橋市民文化会館展示室 入場料/無料 春の市民茶会(後期) 時間/10時～15時 場所/豊橋市民文化会館 茶券/1,300円(2席綴) 豊橋少年少女合唱団第44回定期演奏会 時間/14時～ 会場/ライフポートとよはし 入場料/1,000円(3歳以下無料)</p>	<p>2日(火)</p> <p>5日(金)</p> <p>7日(日)</p> <p>13日(土)</p> <p>14日(日)</p> <p>17日(水)</p> <p>20日(土)</p> <p>21日(日)</p> <p>23日(火)</p> <p>27日(土)</p> <p>28日(日)</p> <p>29日(月・祝)</p>	<p>「春のいけばな展」</p> 

今号の一枚



佐竹 照代

「蜘蛛の糸」 油彩、キャンバス、S30号

静岡大学教育学部芸術文化課程卒。主体美術中部会員。「ART'S Changers」メンバー。「げん展」メンバー

人間の根源的な姿を造形に表し、私達はいったい何者であるのか、どのように在るべきなのかを改めて問い直すことを目標、また主題として制作を行っています。

「佐竹照代油彩展-砂中の鼓動-」
会期/2024年2月4日(日)～3月3日(日)
10:00～18:00(最終日は17:00迄)
会場/アートエッジギャラリー(豊橋市向山西町3-2 東海フレーム 2F)

華道家元池坊豊橋支部創立80周年 青年部創立45周年 記念花展

— 花文化をつむぐ 未来へ向かって let's go —

会期/令和6年3月8日(金)～11日(月)
午前10時～午後5時(9日、11日は午後4時まで)

会場/穂の国とよはし芸術劇場アートスペース

入場料/無料
内容/支部会員による展覧会。今年は支部創立80周年、青年部創立45周年記念花展として開催します。



昨年のように

豊橋少年少女合唱団 第44回定期演奏会

[第1ステージ]日本の歌 花、みかんの花咲く丘、紅葉他
[第2ステージ]昭和～令和★アニメラインアップ 銀河鉄道999、残酷な天使のテーゼ 他
[第3ステージ]同声二部合唱とピアノのための物語組曲「ディックとねこ」

日時/令和6年4月29日(月・祝) 14時開演(開場は30分前)

会場/ライフポートとよはしコンサートホール 入場料/1,000円(自由席)※3歳以下無料

指揮/田辺菜美子 ピアノ/加藤真弓、三浦真理子 チケット取扱い/穂の国とよはし芸術劇場窓口、豊橋市民文化会館事務所、ライフポートとよはし総合案内所、オリエント楽器豊橋店

日本舞踊×時代劇 若駒会 — 舞ひとつ 舞ひとり —

第1部:時代劇『暎の母』若駒会×陽炎座 第2部:日本舞踊発表 若駒会

日時/令和6年3月16日(土) 12時30分開演(開場は30分前)

会場/豊橋市民文化会館ホール 入場料/2,000円(自由席)

チケット取扱い/穂の国とよはし芸術劇場窓口、豊橋市民文化会館事務所、出演者 他

伝統文化こども教室(茶道・華道)を開催しました。

12月下旬～1月上旬にかけて、冬の伝統文化こども教室を開催しました。夏休みに体験できなかった児童を中心に、「華道の部」「茶道の部(表千家)」「茶道の部(裏千家)」の3つの講座を開催しました。



新春文化団体交流会を開催しました。

1月26日、ホテルアークリッシュ豊橋にて「新春文化団体交流会」を開催しました。30の文化団体、豊橋市長、中日新聞社ほか地元メディア、財団支援者の方々、文化振興財団役員など、総勢90名の参加がありました。財団理事長のあいさつ、浅井市長の祝辞、また各文化団体へのインタビュー、満帆会による日本舞踊の披露等、盛りだくさんのにぎやかな会となり懇親を深めました。



文化短信

▼豊橋文化短歌会
十二月日曜短歌会
願ひ事なけれと今宵の流星群
に來し方語りて流す幾許
岡田宏子
春の雪ひとひら受けつけてのひら
は左のてのひら開き切らない
丹羽智子
「グルメ」だった縄文人の展示会
古学びに小一時間ほど
西郷賢谷
散策に見えぬ多くの人のいてボ
ケメンのにさ迷う広場
十五年生徒集りたりにけり紫
式部を語る講座に 小池保利
新玉ねぎ極極極早生五十本つ
つ敵に植えつけ秋空見上ぐ
伊藤はつる
焼き芋を半分こして母と食ぶ
切り口はつこり満月に似る
池田あつ子
沈丁花君に捧げし我が心着信
音にゆらゆらゆら
宇佐美幸枝
「失敗は誰にもあるよ」と慰め
つつ互ひの老いを庇へることし
岡田米子
かきかきかき乾いた風が頬過ぎ
る昨日突然やつてきた秋
澄子
培いし大根育ち食べきれず夜
更けに夫と黙々ささむ
天野富士子
生き様は椿それと山茶花か
近ごろ心情的にサザンカ
西郷賢谷
下枝にひらひらぎの葉の丸くな
る吾が晩節のいかにあらむ
洲淵智子
公園の唐楓の赤空に映え大き
手揚げ私を包む 竹中寿美恵
スマホ持ちカート押す人ひとり
ごと車中の幼児にラインであ
ゆるさとの町を眺むる山道に
薔薇にはならない野花咲きお
妹の一周忌まであと十日うっ
悩みし一年なりき
河合美智子
羽もがれ泥にまみれふらふら
と爆撃受けしか殿様飛蝗
夏目伊代子
一月水曜短歌会
高校の後輩と知る(穂村弘)
二時限おわり早弁したつけ
伊藤はつる
冬眠を忘れし熊が人里に迷ひ
迷ひぬあたたかき冬
室 澄子
ケータイのカレンダー開けスク
ロール我が人生の刻まれてお
り
竹中寿美恵
ばつかあんを心を開いて聴き入
れど解らぬまま蘭秋の虫の
音
長谷川公代
下校後に縫い針五本に糸遠し
綻びなおす祖母に渡しき
天野富士子
風草のゆるるさまを天野富士子
く午後のある日は催眠のごと
く
藤井正子
ヒュッケとは「楽しむ文化」で
マークの人は語りぬ後のラ
ジオに 河合美智子
息子らに最終医療を伝え置く
西郷賢谷

踏みしだく落葉の音を聞きな
がら日暮れ早まる家路急げり
内藤よし胡
大根と夕餉のヒントを貰ふ朝
友の畑はいつもおあお
天気因にスリムダンスの躍りい
て等圧線に冬の来たたりぬ
夏目伊代子
信濃恋ふ(安曇)の歌のしんし
んと遠離りゆく父母のふるさ
と
洲淵智子
一月日曜短歌会
冬庭に貧乏草と母の呼ぶ青草
芽吹く抜かれるために
池田あつ子
丹波の栗そりやそりやそりや
と買はされて剥けば現の虫の
顔出す 丹羽智子
行列しやつと買ひたる鯛焼き
の腸に先つかりつきたり
小池保利
電話に絡められたる金柑の葉
は落ち細枝の白く乾けり
内藤よし胡
哀へし耳こそあはれ亡父の忌に
吾のみに聴こゆ温き父の忌に
個室なら自分好みに設えて病
と同居 オレ楽天家 西郷賢谷
冬空の柿畑ゆれば古墳群土
曜を歩く老若男女
伊藤はつる
懐かしき痛みは遠き森の中樞
の木に告ぐ失ひしこと
宇佐美幸枝
真夜中にカーテンの裾明る
て照れくさそうに月の照り
真造富久代

▼市民俳句会
第六六八回
行く年や嬉しきことの一つあ
寒昂ときおり聞こゆピアノ曲
坂部靖子
暁闇の杜に拍手年移る
佐藤英子
年は逝く夜汽車の人を降ろし
つつ 後藤青海人
行く年や歩き初めた嬰一歩
縛入るや二基の塔頭片時雨
篠田和代
年越しの夢は抱負に 八十の途
加藤美津子
一筋のこころ貫き 年近けり
河合美智子
根割きの枯菊束ね焼べる畑
大野富士子
第六六九回
大地震の能登しんと夜牙
ゆる 佐藤英子
献香の煙身に寄せ寒詣
高橋良子
人の日や恋占ひのあみだ籠
後藤青海人
まなうらに椿遠良長 高橋始
坂部靖子
初夢や糸を通さぬ針の穴
鳥居節子
神様を少し信じて 初詣
杉浦雅光
通勤の行き交ふ橋や冬の朝
大河美智子
被災者へ七草粥を 福田灯子
龍口の送る水気満つ 河合澄子